

教 科	工 業	科 目	船舶工学（船舶構造）	単位数	2 単位（選択）
学 科	機械造船科	学 年	3 学年	コース	造船コース
学習目標	船の構造、機装・艀装、加工、図面について理解する。また、船の装置・設備について、機能別に理解する。さらに、船の推進、機関室の設備について理解する。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	第 7 章 様々な船舶、省エネ等技術 1 様々な船舶 2 省エネ等技術		・ L N G 燃料船をはじめとした新しい船について理解している。また、省エネ等の技術について理解している。 【A・B・D】		
	第 12 章 あらまし 1 船の構成 2 船体構造図 3 造船材料		・ 線図や中央断面図、船首・船尾部構造図等の船体構造図について理解している。また、造船に使用されている材料について理解している。 【A・B・D】		
	第 13 章 船の構造 1 中央部構造 2 上部構造		・ ばら積貨物船や油タンカーやコンテナ船、自動車運搬船等の中央部及び上部の構造について理解している。 【A・B・D】		
	第 14 章 船の設備 1 運航設備 2 貨物設備 3 居住設備 4 安全設備		・ 係船設備・航海設備・通信設備等の運航設備や、デッキクレーン等の貨物設備について理解している。また、採光設備・照明設備・防火構造等の居住設備や、救助設備・消火設備等の安全設備について理解している。 【A・B・D】		
	第 15 章 船の推進と機関室設備 1 内燃機関 2 補助機関 3 機関室設備 4 軸径およびプロペラ		・ 内燃機関やその補助機関及び機関室設備、軸径・プロペラについて理解している。 【A・B・D】		
評価の観点	【A】 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 【B】 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 【C】 技 能 【D】 知 識 ・ 理 解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題、授業態度・意欲・関心による総合評価				
教科書等	SAIL TO THE FUTURE 造船工学 1・2 （一般社団法人日本中小型造船工業会 全国造船教育研究会）				
備 考	船舶構造は機械造船科コース科目であり、造船コースの就職希望者を対象に実施する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。